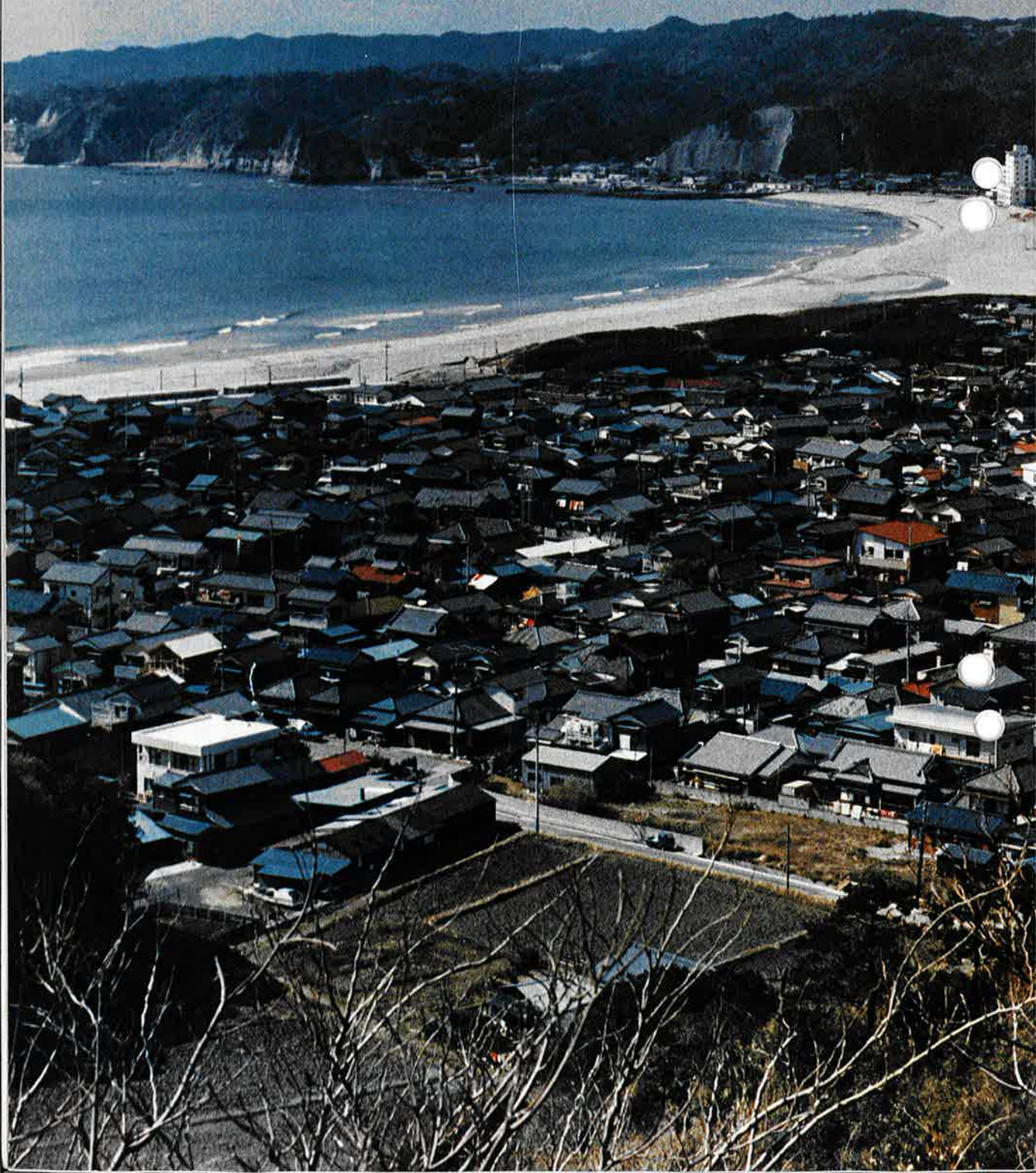


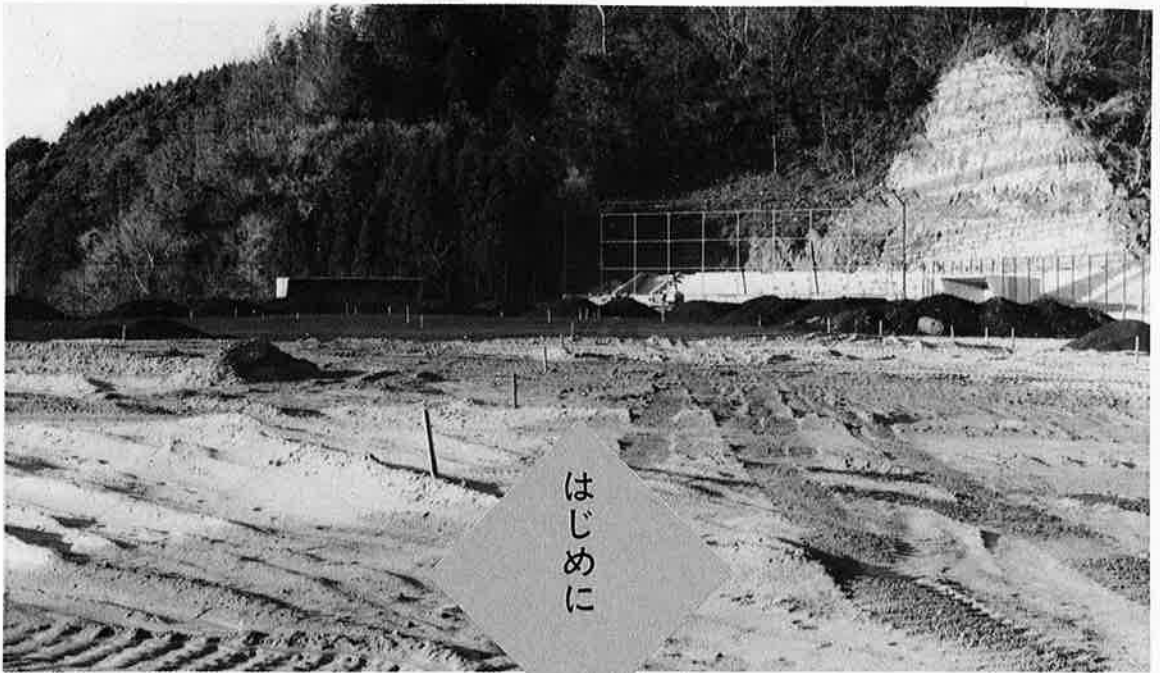
# おんじゅく

第195号

町勢特集号







はじめに

1979年のしめくくりとして『町勢特集号』を発行しました。さまざまな出来事を織りなしたこの1年間の町政の姿を数字で表わしてみました。財政事情その他、実生活でお役に立てれば幸いです。

## 行政

### 普段着の町政をつらぬく

豊かなくらし、住みよい町づくりを目標に、町民の皆さんの意見が、町政に反映できるように住民相談室を設置しました。相談日は

第一土曜日の午前中です。普段町政についての疑問やご不満、ご要望のある方が、気軽に町と相談できるようになっていきます。

## 財政

### 健全な運営に全力投球

景気回復を計るため国においては、臨時異例の財政措置として公共投資の大幅な拡大が行なわれたことや、物価が比較的安定したことにより、石油危機以降はじめて景気は、わずかながらでも回復に向ったものの、財源を国債に求めたためその依存度を更に高める結果となりました。

このような状況下において地方財政においても財政不足を補うためここ数年來地方債の増発により、地方債の依存度が高まり、公債費は大幅に増加し地方財政の悪化をまねく要因となっています。

今後地方債現在高、各年度の地方債償還額等を勘案の上長期的な



健全財政で町に力を

観点からの財政の健全化に努める必要があります。八〇年代は「地方の時代」といわれています。

健全な財政運営がなされて始めて地方の時代となるわけです

## 開発振興

### 規律ある開発で早期完工

人口の定着と観光の通年化を図るためはじめられた、夷隅建設事業も、開始以来八年を経過しましたが、A地区（高山田地先）は、昨年末着工。

区（須賀、浜、実谷地先）の用地買収も、全体計画の九六%の協力をいただき、全面的な買収協力に、今一步というところまでまいりました。

昭和五十六年秋オープンを目指すゴルフ場

一日も早く、規律ある開発を目

は、荒土工約七〇%、全体計画の四〇%を、また宅地部分第一期工事約二〇〇区画については、荒土工約七〇%の進捗率で、明年秋販買開始予定と、順調な工事の進捗を見ています。

またB地



工事中のA地区

指して、工事着工すべく目下努力中です。

ぜひとも、この町最大の開発事業

## 上水道

### 町ぐるみで課題解決へ

町民待望の町営上水道が完成し、昭和五十三年十月十五日より給水を開始し早や一年余経過いたしました。給水は開始したものの水道

事業経営は非常に困難な問題が山積しています。この困難な問題をみなさんの深い理解と協力によって一日も早く解決し、さらに大き

業の達成に、みなさんの御協力をおねがいたします。

く成長し、快適な生活にお役に立つよう一步二歩前進していきたいと思えます。

#### 〈工事経過〉

○貯水池築造（勝浦地先）  
貯水容量一六六七〇トン

#### 〈給水経過〉

○給水人口 三七五六人

○給水戸数 九三九戸

○一人一日平均使用量九二ℓ

○有収率 九二%

（S54・12・24現在）

## 観光

### 夏季型脱皮の方策推進へ

#### （ことしの夏の現状）

ことしの夏は、例年より梅雨明けが遅く短い夏でした。それだから「天候に負けた」と一言で片付けるわけにはいきません。

夏一季型の色彩の強い当町の観光だけに、短い夏は確かに痛手です。しかし例えば、駅の売上げや民宿の入込みなどをみてみると、全般に御宿は入込みの伸び悩み現象が現われています。特に駅の売り上げは、近隣町村と比しても対前年比で落込んでいます。

天候に左右されたと判断を下しているか疑問が残ります。レジャー施設を持った町村は、比較的落込みは少ないという結果がでているだけに。

#### （町観光の現状と町の特性）

御宿町の観光地化が始まったのが昭和三十年の後半から。観光旅行が年々その量を増し、国民生活上の意味も重大になりつつあるころからで、四十年前半から四十八年のオイルショックを経るまでがピークでした。

この間の町の観光を支えていた大きな要素は、海を利用した夏型観光であり、あまりにもこの要素が強く、現在もこの傾向は変わりません。年間入込の約九割が夏季に集中しています。この夏季観光地から脱皮するのが大きな課題です。

真南にひらけた明るい海岸。三方を山に囲まれた美しい街並み。白浜の白いさらさらした砂。青い海。白い波頭の立つもう一つの海は、奇岩、原始の海蝕海岸もっています。

首都近郊二千万をこえる市場とロケーションは次のとおり。

町の人口八千三百八十人（五十四年十月一日現在、面積二五・〇五キロ平方メートル。人口は社会減

3 月			2 月			1 月		
3 日	28 日	24 日 23 日 22 日 16 日 7 日	23 日	15 日 11 日 3 日	31 日	24 日	15 日 7 日	1 日
渚大運動会	砂丘橋渡り初め式 布施小学校卒業式	御宿小学校卒業式 保育所卒園式 御宿小学校卒業式 岩和田小学校卒業式 御宿中学校卒業式 定例議会	竣工式	町営総合グラウンド 新第二浜トンネル貫 通式 郡一周駅伝大会 本郷線林道竣工式	野沢温泉村に出発 御中一年生 海と山の子交流会 起工式	町営総合グラウンド 起工式 成人祝賀マラソン大 会	元且歩こう会、岩和 田大除(六百人参加) 新年祝賀式(御小体 育館) 消防団出初式	



約90パーセントが夏に集中する観光のすがた

が自然増を上回り、減少傾向をたどっていますが、近年やや横ばいの兆候にあります。  
産業は、内陸部が農業、沿岸部が漁業・水産養殖業が盛んです。しかし農漁業とも兼業が多く、経営規模が小さい。  
町は三方を高さ百メートル前後の丘陵に囲まれ、町の中央を国道二二八号線と、国鉄外房線が横切っている。海岸線は約二キロメー

トルの砂浜と、六キロメートルの奇岩の海蝕海岸とからなっています。砂防用の松林が町と砂浜を分断しています。  
(観光客の特性)  
最近の観光は、点から線の観光といわれ、一地点にとどまることをしない観光客が大半。レジャー施設をもたない当町にとって、近隣町村のレジャー施設を訪れる客が、当町の宿泊施設を利用して、

旅を続けるとしたら、もつと駅の売上げが伸びてもよいはずですが。しかし結果は逆で、この疑問点を解くために、当町の観光についてもう一度考えてみる必要があります。

(観光開発の基本方針)

- 一、健康的で明るい観光地
- 二、住民参加と住民利益
- 三、観光演出

この三つの基本方針を前提に、観光を推進し、多くの誘客をはかるには、最低限三つの要素が考えられます。

その一つは、施設の充実、整備——これはレジャー施設、宿泊施設を意味します。

次は宣伝——これによって、町の知名度を高め、観光客の関心と予備知識と、訪れてみようという興味を起こさせます。

もう一つは、観光客が見て楽しんで、参加できるような催し(イベント)が必要です。

風光明媚だから、ロケーションがすばらしいからと景色を売り物とした観光にも限度があり、みる観光から参加し、プレイをし、汗をかく、試みるという自らのアクションを伴うもの——特にスポーツなどを媒体とした、観光が注

目されています。

こうした状況の変化に対応するために、まだまだ施設の整備が必要で、特に大きな規模のしかも多様性のある変化に富んだ、ユニークな施設づくりが望まれます。

こうした施設づくりは財政の乏しい自治体では、大それた施設はできません。だから当然民間の豊富な資金と知能と技術力を駆使する必要があります。こうした観点に立つと、やはり東西に計画された二つのプロジェクトの促進は、御宿にとって不可欠な事業です。

しかし現状では、きわめてきびしい状況下にあります。したがってこのような施設の見通しが不透明ならば、当面宿泊施設の整備ができる環境づくりをし、地元業者が積極的に取り組めるような適地の確保や進出しやすい方向づけをすべきです。

設備改善のための低利で長期の資金の斡旋。地場産業的要素の強い民宿の質的向上と夫々の施設や経営の特異性を売り物とすべき(画一化されたものではあきられる)です。

(金のかからない仕事と大きな金を要する事業)

観光客に対する親切。木や草花

12月	11月	10月	9月	7月	6月	5月	4月			
21日	3日	10日 7日	28日 23日 15日 5日	30日 23日 1日	25日	15日	29日 22日	15日	8日 6日	5日
定例議会 技会	文化祭・スポーツ競 技会	衆議院議員選挙 体育祭（御小グラウ ンド）	秋祭り 町議会議員選挙	敬老会 定例議会	野沢温泉村中学78名 到着	海開き クリーン・キャンペ ーン（三千人参加） 海と山の子交流会	高梨町長初登庁	統一地方選挙 国鉄五〇周年キャン ペーン砂の芸術大会 御宿町長選挙 銀座三越宣伝	御宿小学校入学式 岩和田小学校入学式 布施小学校入学式 保育所入所式 千葉県知事・県議会	

## 建設

### 道路・漁港整備にテコ入れ

を植え、環境をきれいにするとい  
う金のかからない点にも力を注ぐ  
べきです。  
最後に観光立町をかかげるには  
それに対応する人の心構え、観光

に対する理解力の養成とモラルの  
向上という人的資源の整備と公共  
下水道、ごみ処理場の整備という  
環境美化の物的整備をし、観光地  
らしい観光地をみざすべきです。

昭和五十四年度建設事業は、総  
額二億八千万円で実施してしまし  
た。

の農林道整備は現在工事を進めて  
います。  
漁業基盤の整備として進めてき

主な事業は、今年度から三ヶ年  
計画で実施する上布施地先涼原林  
道の開設千五百万円、新久井地先  
川座橋の架替工事二千八百万円等

た岩和田漁港は、昨年は漁港施設  
が完成し、残された関連道路も立  
派に完成しました。  
御宿漁港は、昨年度から実施し



脇道や通学路など生活関連を主に整備していく

## 商業

### 業界の振興と消費者教育

てきた防波堤補強工事が本年は一  
千五百万円の事業費で完成し、残  
る前面防波堤の改良については第  
七次漁港整備計画の中で今後実施  
していく計画です。

河川改良事業は、継続事業とし  
て実施している新町地先裾無川、  
実谷地先落合川の改良工事を実施

していきませう。  
一般土木事業は幹線道路の整備  
が終り、現在脇道、通学路等の生  
活関連施設を主に排水整備、舗装  
を進めており、今後も住民の要望  
に出来る限り添うよう努めていき  
ます。

私たちが自分たちの暮らし方生  
き方を考えるとき何を中心にする  
かによって、期待することもずい  
ぶん違ってくると思います。ひき  
つづく不況の不安のなかでひとし  
く考えることは、いい経済状態に  
ということではないでしょうか。  
ではいい経済状態とはいったいど  
のようなことでしょうか。六十年  
代における経済の高成長により生  
産性の向上、それに伴い所得も消  
費もふえました。しかし反面物価  
は急上昇、日常生活における危険  
度も増しその上暖房やマイカー  
もままならぬ石油価格のつり上げ、  
経済状態は増々不安の一途にあり  
ます。  
このような社会情勢のなかで、



新町商店街

中小企業対策として経営資金、改  
善資金、設備近代化資金など融資  
資金調達のあつせんにより経済対  
策を行なっています。  
また、日常生活における商品の  
多様化、高度化による誤った取り

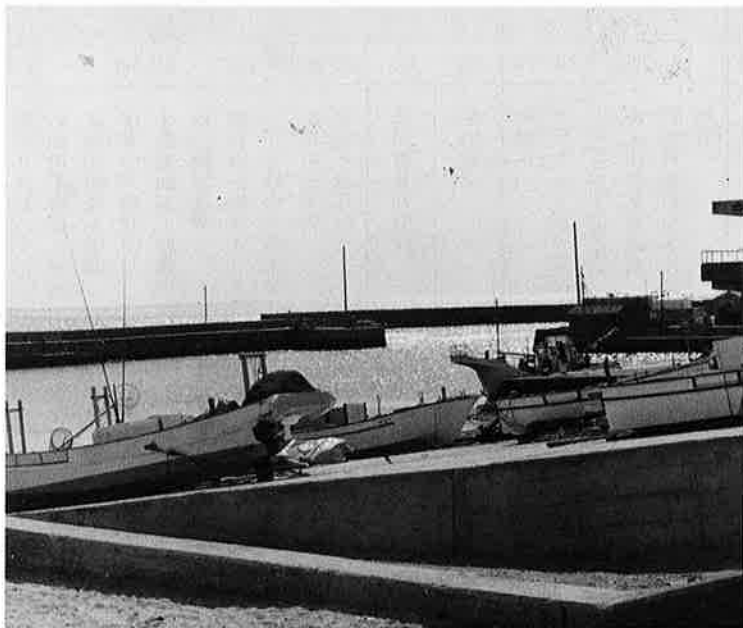
扱いや悪徳商法、訪問販売などによる消費者への悪影響が増えています。消費者対策の一環として、消費者意識の向上をはかるため講習会や生活展の開催、地元小売業者との懇談会の実施、各種研修会への参加を要請し良い商品を安心して選べるよう消費者教育を推進してまいります。

## 漁業

### 御宿漁港を大規模改修

漁港整備計画は昭和四十九年度

に着工した岩和田漁港も五十四年



にぎわう御宿漁港

度で総工費五億五千万円をかけ完成いたしました。今後の方針は、御宿漁港を国の第七次漁港整備計画により、大規模な改修を計画しています。漁業振興対策は磯根資源を利用

## 農業

### 水田の汎用化へ取り組み

した漁業が大きく占め、コンクリートブロックの投入、稚貝の放流などを計画的に行ってまいりました。五十五年度は稚貝の中間主成を目的とした大型増殖団地の造成を計画しています。

格の高騰と合わせて農業にとつては厳しい年でした。また昭和五十三年から話し合いの進められてきた上布施地区の基盤整備事業も昭和五十五年度着工の子定となりました。これを機会

五十五年度分については県から四十八%増の三七、二ヘクタールの目標面積が示されました。さらに牛乳、豚肉、玉子、みかんと生産調整の必要な農産物が増加し、原油価

に町も水田の汎用化のための乾田化事業、基盤整備事業に上乘せ補助等を行い推進しているため、他の未整備の地区も区画整理、排水路整備などを乾田化の前段階の問題として取り組むことがのぞまれています。

▼義務教育施設 御宿中学校のトイレは、これまでくみ取り式で大変ご不便をかけておりましたが、本年度、近代的な水洗トイレに改造しました。

昭和五十四年産水稲は、早生種の出穂期に天候に恵まれなかったことなどから平年作に終わっています。

## 教育

### 本年度は待望の野球場完成

▼社会教育施設 体力づくりの拠点である総合グラウンドの建設が進行中で、本年度は野球場が完成します。引き続きテニスコートの造成に着手する予定です。フル



義務教育に全力をそそぐ

回転の公民館活動とあいまって、町民のみならず、生涯教育の進展

におおいにご利用ください。

## 保育所

# 大切に育てたい子どもの夢

### 幼児期に大切な

### 基本的生活習慣を

「おはようございます」今日も元気な声と共に保育所の一日ははじまります。「積木」「ボール」などおもちゃをいっぱい出し、けんかをしたり、ゆずりあったり、泣いたりしながら集団の中で、自主性、社会性を身につけ人間として成長をしていくのです。

乳幼児期は人間形成の基礎を築く時期ですので、身につけなければいけないことがたくさんありますが、「基本的な生活習慣の自立」について特に呼びかけています。

一、排泄の習慣……トイレの正しい使い方を指導。

二、睡眠の習慣……早寝早起きの呼びかけ。

三、着衣の習慣……自分で服を着たり脱いだりする。

四、食事の習慣……しよずな食事をします。食事のマナーだけでなく、お箸の持ち方、残さず食べる

など……。

五、清潔の習慣……手洗い、鼻をか

む、入浴などの呼びかけ。このような生活の基本に手を貸しながら心のぬくもりをもっているのです。そしてまず何よりも幼児が身体的に健康に育つ基本になるのです。また幼児期は人生最初の時期でもありますので正しく教えることが大切です。

よくこんな話を耳にしますが、



無限の可能性を秘める次代の町民たち

## 社会福祉

# こころのふれあいを大切に

「保育所で字を教えてくれるといいのですが」とそれも三才児のお母さんから聞いた時にはびっくりしましたが、保育所では前にも述べましたことを基礎にもちその子どもの発達段階に応じて働きかけをしています。しかし整備された環境の中で保育することにより、子どもたちは発達を示していきます。例えば文字や数字が身につくように、えほん指導をしたり、数字のうたをうたったり、カルタ遊びをしたりしていますが、子ども

たちがこのような遊びの中から自然に身につけていくことが一番尊いものではないでしょうか。保育所時代（幼児期）でなければできないこと、できない遊びをたくさんさせてあげたいと思います。子どもたちのポケットにはいつも夢がいっぱいです。この無限の夢をいつまでも大切にしていれば子どもの立場に立って、あせらずそして豊かな人間育成のためにはかりしれない可能性を導き出してあげたいと思います。

福祉とは、しあわせという意味で、私達が日頃望んでいる条件を満たしたり、整備することです。社会環境や経済成長の中で、与えられる福祉だけではなく、与える福祉も考えられるようになりました。お金や品物が福祉と考えられた時代もありましたが、現在では温かい思いやりが福祉には必要だと考えられています。

老齢化の進む今日、幸せな老後をおくるためには、施設整備や年金増額も大切なことですが、なん

といっても、地域の人々の温かい心の交流が必要です。

今日社会福祉は、地域住民の中に育まれつつあります。行政に先がけて行なう善意が、地域住民の心のつながりで、これを行政にながてゆくことが、真の福祉ではないでしょうか。

最近市町村の間では、地域ぐるみという言葉が多く使われていますが、環境の異なった地域の人々が一つになって、福祉の動向を見守ってゆくことが、福祉の輪を広



ける第一段階です。各自持っている力を活かし、ボランティア精神を充実させて、住みよい町づくりに参加して欲しいものです。

七〇年代の福祉は、住民の声を

## 国民健康保険

### 適正な受診で負担を軽く

国民皆保険が浸透し、高額療養費、老人医療制度が確立されてだれもが安心して医療を受けられるようになりまし

た。しかしそ

うした反面医療費が急上昇して国民健康保険財政が著しく圧迫され、御宿町の国民健康保険も四苦八苦しているのが現状です。

無駄な医療費の支出はわが身に負担増となつてはねかえつてくるといふ認識にたつて適正な受診に努め、自分の健康は自分

反映して進んできましたが、これからは八〇年代の福祉の展望で、高齢化社会に対処する福祉のあり方を、みんなで考えてゆきたいものです。

で守る、という自覚を持ち、いつも健康で明るい家庭を作るよう努力することがのぞまれます。町



のぞまれる適正受診

民健康保険も町民の健康管理に精いっぱいのお手伝いをします。

## 保険衛生

### 集団検診で明るい家庭を

#### ▼成人病予防

どんな病気でも、早くみつけて、早く治療するというのが鉄則です。わが国の成人病のうちでも一位が男女とも胃がん、また、女子では子宮がんがもっとも多いとされて

います。そこで、町では、成人病対策として年に一回胃がん、婦人科検診を行なっていますので、必ず集団検診を受け、明るい家庭を築くため自分の健康管理をしましょう。

## ゴミ処理

### みんなガルールを守つて

ゴミ収集は生ゴミが週二回、危険物が一回ときまっています。



住みよい町ヘルールを守つて



健康保持へみんなが受診を

生ゴミと危険物の区別をしないで出す人が非常に多く見うけられます。このため収集作業能率の低下はむろん、特に生ゴミに混入したスプレー等の爆発による作業員の怪我、炉内レンガの崩壊が考えられます。

このようなことがなくなり、ルールを守るようになれば収集能率がさらに向上し、環境美化はむろん町民サービスの向上も図れます。また現在焼却場への持込みが制限されていますが、これは埋立地を有効に利用するため町外からの持込者を防ぐものです。

持込み時間は平日八時三十分から五時まで土曜日は八時三十分から十一時三十分までとなっています。お互にルールを守り住みよい環境づくりに励みたいものです。



# 防 災

## 備えあれば—を確かめよう

(1) 家族そろって防災の話し合い

火災・地震はたしかに恐ろしいもの、でも日頃から関心をもち、しっかりと心構えをしておけば必要以上にビクビクすることはありません。そのために家族団らんのひととき、顔ぶれがそろったところで「我が家の防災計画」を話し合っておくことが大切です。ただし一回だけでおしまい—ではなく定期的にいきましょう。

○ グラリときたら危ない物は準備万全に（設備器具家具についての防災の計画）

地震にそなえて

○ 家具調度品ベンジンなど危険物を入れた容器、棚の上のガラス製品などは押さえを入れる工夫をしたりして安定させておきましょう。

○ 火を使う設備器具の周辺は火をつけたり消したりしやすいようにいつも整備しておく。

○ 灯油、重油など液体燃料を使う、ボイラー風呂がmastorbなどとは対震安全装置のついたものにする。

○ プロパンを使う設備器具にも同じ

ことがいえる。

(2) 外出先での防災（外出先では何

をしたらいいのだろう）

私たちがただ家庭と職場とを行ったり来たりしているわけではありません。デパートで買物もするし、劇場へも行くし食堂で食事もある。何処かへ行くにはバスや電車に乗ります。旅行へも出かけるし、病気



町民の生命財産を守る町消防



○ 病院に入院しているとき  
廊下や通路に物が置いてないかどうか狭いと避難が困難、床がすべりやすかったり、つまずきやすかったりしないかどうか、歩きずらいと避難が遅れます。また夜間の避難誘導体制がしっかりしているかどうか確認しておくことも大切です。

になって入院することもあるでしょう。そんな時火災や地震にあう可能性がないとは言えないのです。

○ 劇場等にいるとき  
補助椅子が出ていたり立見客がたくさんいるような時に火災や地震が起きたらパニックになる危険が大きいのですぐまで待つ方が良いでしょう。

○ 宿泊施設等に泊っているとき

玄関や廊下に避難経路図が貼ってあるかどうか到着したら先づ確認すること。

○ デパート・スーパー等で買物をしているとき  
屋上広場への出口扉が自閉式かどうか自閉式でない段階が煙突がわりになって火災を拡げてしまう危険がある。避難誘導灯や誘導標識が商品のかげになっていないかどうか、探しても見つからないときは従業員にたずねて避難経路を確認しておくといい。





総面積25.05km<sup>2</sup> 東経140° 北緯35°



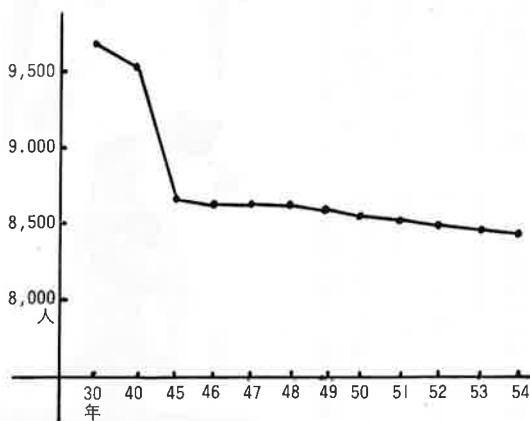
●年別気温

年	平均	最高	最低	降雨量
30	16.6	34.1	-4.4	2220.3
40	14.9	31.6	-4.8	1639.5
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
52	15.4	31.5	-4.3	2050.0
53	15.4	31.5	-4.5	2049.5
54	16.3	32.8	-1.0	2103.5

●54年の月別気温

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温	7.4	9.4	10.2	13.6	17.2	20.8	23.2	25.6	23.3	19.4	15.2	10.6
最高	17.5	18.4	19.4	19.8	24.7	28.6	32.8	32.4	30.8	27.6	24.6	20.4
最低	-0.4	1.9	-1.0	3.4	8.6	13.6	17.2	19.4	17.4	12.3	5.8	1.5
降雨量	153.0	176.0	122.0	161.5	103.5	117.0	207.0	188.0	191.0	239.0	375.0	70.5

●人口の動き



●人口の推移 (4月1日)

	世帯数	人口			一世帯当り人口	人口密度
		総人口	男	女		
30年	2,023	9,753	4,519	5,234	4.8	428
40年	2,084	9,550	4,455	5,095	4.6	381
50年	2,236	8,590	4,049	4,541	3.8	343
51年	2,240	8,572	4,026	4,546	3.8	342
52年	2,245	8,501	4,018	4,483	3.8	339
53年	2,282	8,492	3,994	4,498	3.7	339
54年	2,326	8,519	4,015	4,504	3.7	340

●人口動態

区分 年度	自然動態			社会動態			人口 増加
	出生	死亡	自然増	転入	転出	社会増	
30年	243	100	143	521	598	△ 77	46
40	132	91	41	221	353	△ 132	△ 91
45	125	92	33	375	472	△ 97	△ 64
50	114	94	20	379	322	△ 57	△ 37
51	112	95	17	369	281	△ 88	△ 71
52	98	93	5	370	357	△ 13	△ 8
53	95	79	16	357	344	13	29

●行政区別世帯・人口

(54. 10. 1 現在)

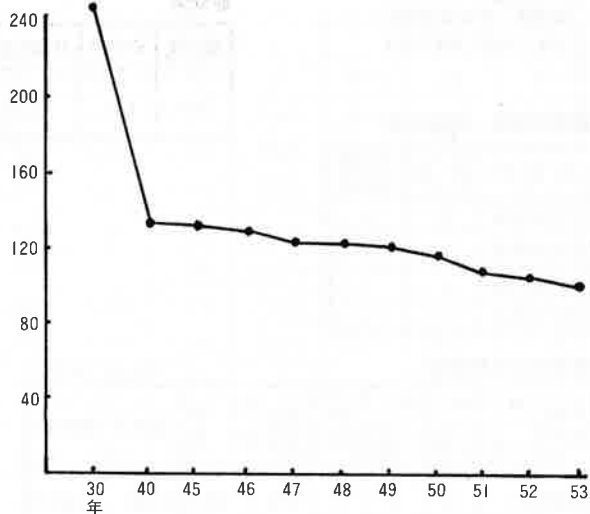
区名	世帯	総数	男	女
須賀	305	1,006	463	543
浜	267	925	423	502
高山田	76	323	163	160
久保	268	954	448	506
新町	440	1,465	680	785
六軒町	230	761	348	413
岩和田	466	1,675	789	886
上布施	193	759	361	398
七本谷	126	512	245	267
合計	2,371	8,380	3,920	4,460

●結婚と離婚

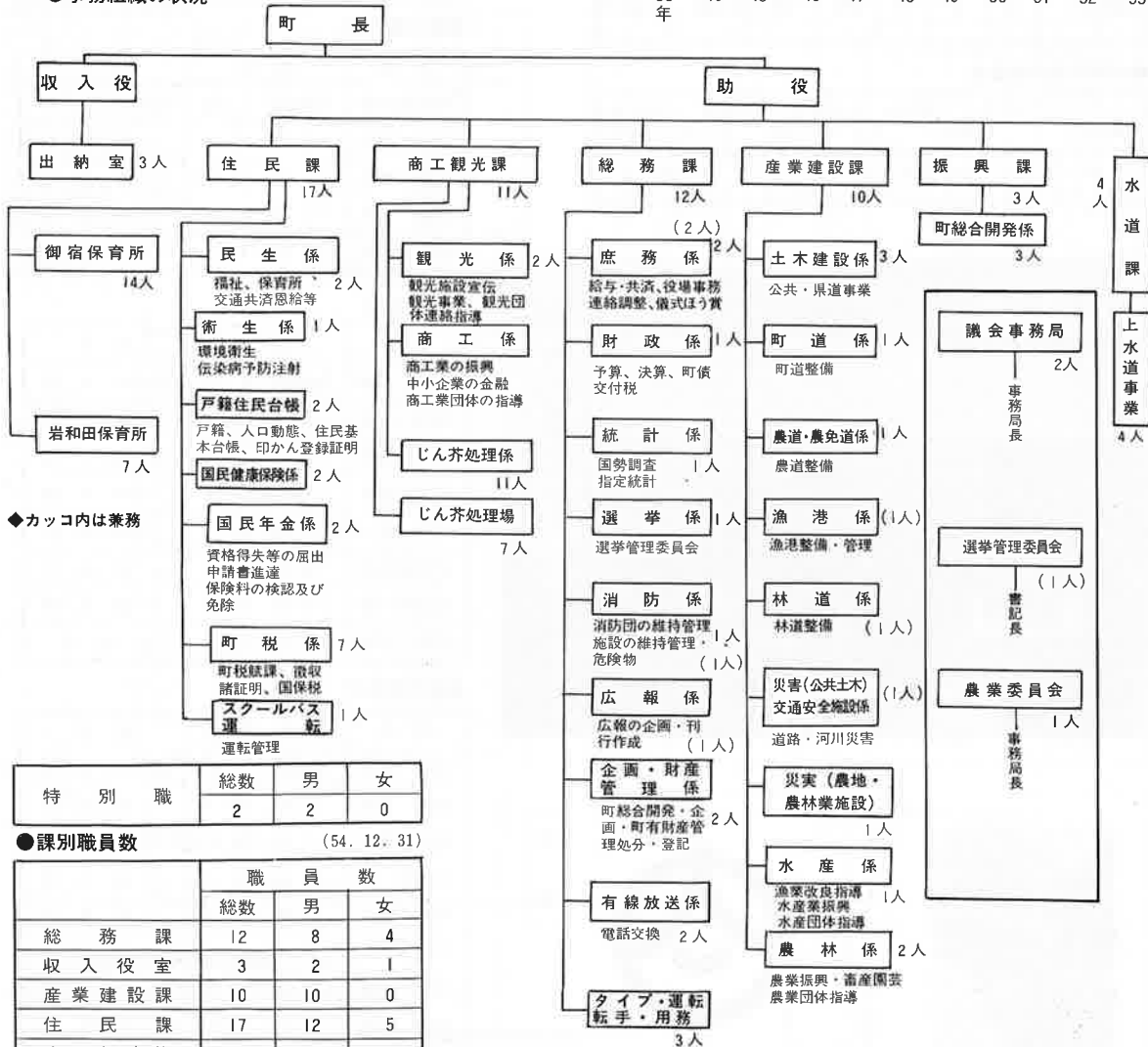
(受付数)

	結婚	離婚
46年	86	9
47	89	5
48	83	8
49	77	4
50	66	5
51	57	2
52	49	7
53	59	9

●出生と死亡



●事務組織の状況



特別職	総数	男	女
	2	2	0

●課別職員数

(54. 12. 31)

	職員数		
	総数	男	女
総務課	12	8	4
収入役室	3	2	1
産業建設課	10	10	0
住民課	17	12	5
商工観光課	11	10	0
振興課	3	3	0
水道課	4	4	0
保育所	21	0	21
合計	81	49	31

●議会運営・活動状況  
定例会 年4回(条例)  
3月・6月・9月・12月

●昭和54年～開催状況

定例会	会期	本会議 延日数
3月定例会	8	2
6月定例会	1	1
9月定例会	1	1
12月定例会	1	1

●議員の年齢構成

(54. 12. 31現在)

年齢 区分	35 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 以上	合計 年齢	平 均 年 齢	最 年 少	最 年 長
人数	1	12	5	0	998	55	38	66

●在職年数別議員数

年数	4年 以下	4年を こえ 8年以下	8年を こえ 12年以下	12年を こえ 16年以下	16年を こえ 20年以下	20年を こえる もの
人数	4人	7人	4人	0人	1人	2人



●党派

無所属	公明党	日本共産党
16人	1人	1人

●歴代町長

氏名	就任	退任
大地 重直	昭和30. 3. 31	昭和30. 5. 14
井上 文吉	// 30. 5. 15	// 42. 5. 14
岩井 敏夫	// 42. 5. 15	// 54. 5. 14
高梨 秀治	// 54. 5. 15	在任中

●歴代助役

氏名	就任	退任
相原誠三郎	昭和30. 10. 18	昭和38. 10. 17
岩井 敏夫	// 39. 1. 10	// 42. 4. 17
佐藤 清司	// 42. 12. 20	// 45. 10. 31
浅野 興典	// 47. 4. 1	// 54. 5. 14
池田 覚道	// 55. 3. 1	在任中

●歴代収入役

氏名	就任	退任
相原誠三郎	昭和29. 2. 13	昭和30. 10. 17
佐藤 清司	// 30. 10. 18	// 42. 12. 19
浅野 興典	// 42. 12. 20	// 47. 3. 31
和田 正美	// 47. 4. 1	// 54. 5. 14
岩瀬 剛	// 54. 7. 1	在任中

●歴代議長

氏名	就任	退任
吉野 要	昭和30. 3. 31	昭和32. 9. 30
浅野 航海	// 32. 10. 1	// 34. 9. 30
新井 清治	// 34. 10. 1	// 40. 9. 30
関 龍雄	// 40. 10. 1	// 44. 9. 30
中村 喜一	// 44. 10. 1	// 48. 10. 31
江沢富士松	// 48. 12. 4	// 50. 10. 11
岩崎栄一郎	// 50. 11. 12	// 55. 9. 30
石田 行雄	// 54. 10. 1	在任中

●歴代副議長

氏名	就任	退任
渡辺 胤生	昭和30. 3. 31	昭和30. 9. 30
市東 三郎	// 30. 10. 1	// 32. 9. 30
荒井 清治	// 32. 10. 1	// 34. 9. 30
岩崎栄一郎	// 34. 10. 1	// 40. 9. 30
中村 喜一	// 40. 10. 1	// 44. 9. 30
江沢富士松	// 44. 10. 1	// 48. 12. 3
江沢 一雄	// 48. 12. 4	// 52. 9. 17
石田 行雄	// 52. 9. 17	// 54. 9. 30
井上 泰爾	// 54. 10. 1	在任中



町の木

キョウチクトウ



町章



●選挙投票状況

選挙名	施行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	平均	男	女
参議院議員選挙	49年7月7日	6,413	2,963	3,450	4,895	2,227	2,668	76,33	75,16	77,33
千葉県知事・県議選挙	50月4月13日	6,386	2,953	3,433	5,375	2,447	2,928	84,17	82,86	85,29
御宿町長選挙	50年4月27日	6,361	2,947	3,414	5,257	2,384	2,873	82,64	80,90	84,15
御宿町議会議員選挙	50年9月21日	6,414	2,977	3,437	5,924	2,699	3,225	92,36	90,66	93,83
衆議院議員選挙	51年12月5日	6,445	3,000	3,445	5,277	2,402	2,875	81,88	80,07	83,45
参議院議員選挙	52年7月10日	6,449	3,004	3,445	4,260	1,940	2,320	66,06	64,61	67,31
千葉県知事・議員選挙	54年4月8日	6,396	2,973	3,423	5,270	2,385	2,885	82,40	80,22	84,28
御宿町長選挙	54年4月22日	6,398	2,975	3,423	5,869	2,695	3,174	91,73	90,59	92,73
御宿町議会議員選挙	54年9月23日	6,426	2,999	3,427	5,890	2,707	3,183	91,66	90,26	92,88
衆議院議員選挙	54年10月7日	6,468	3,015	3,453	4,818	2,202	2,616	74,49	73,03	75,76

●投票区別有権者数

(54年9月現在)

区分	投票区域	計	男	女
第一投票区	久保・新町・六軒町	2,452	1,140	1,312
第二投票区	須賀・浜・高山田	1,730	810	920
第三投票区	岩和田	1,264	585	679
第四投票区	上布施	618	289	329
第五投票区	実谷・七本	425	202	223
総数		6,489	3,026	3,463

●54年度一般会計予算

(歳入)

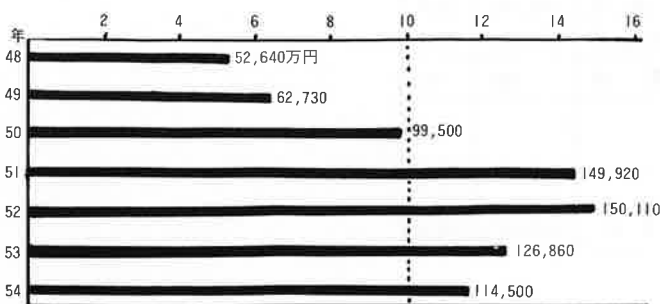
区分	予算現額	構成比(%)
地方税	286,801	25.0
地方譲与税	13,700	1.2
自動車交付税	10,900	1.0
地方交付税	365,000	31.9
交通安全交付税	1,100	0.1
分担金・負担金	24,859	2.2
使用料	28,924	2.5
手数料	5,655	0.5
国庫支出金	85,848	7.5
県支出金	95,609	8.4
財産収入	22,010	1.9
寄付金	980	0.1
繰入金		
繰越金	65,000	5.7
諸収入	35,114	3.0
町債	103,500	9.0
合計	1,145,000	100.0

●目的別

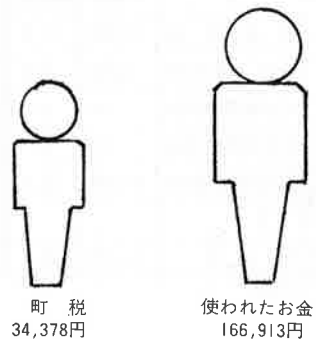
(歳出)

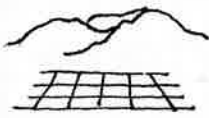

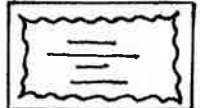
区分	予算現額(千円)	構成比(%)
議会費	42,153	3.7
総務費	280,043	24.4
民生費	168,116	14.7
衛生費	91,311	8.0
農林水産業費	74,421	6.5
商工費	43,157	3.8
土木費	197,075	17.2
消防費	41,607	3.6
教育費	144,464	12.6
公債費	61,153	5.3
予備費	1,500	0.1
合計	1,145,000	100.0

●当初予算の動き



●53年度町民1人当たり



町有財産  (54.3.31現在)	土地 673,510㎡ 	町の借金 549,775,000円  ¥
	建物 24,357㎡ 	有価証券 1,969,000円 

53年度 住民負担の状況 (太字-1世帯当たり・円) (1)-1人当たり・円)	
町民税 46,657 (12,739)	たばこ消費税 13,975 (3,816)
固定資産税 45,768 (12,496)	電気 5,153 (1,407)
軽自動車税 1,031 (281)	木材引取税 27 (7)
特別土地保有税 13,298 (3,631)	

(滞納繰越金、国などから交付される固定資産税を除く)

●54年度国民健康保険特別会計予算

(単位千円)

歳 入			歳 出		
科 目	予 算 額	構 成 比	科 目	予 算 額	構 成 比
国民健康保険税	93,869	28.1	総 務 費	12,972	3.9
使用料及手数料	2	0	保 健 給 付 費	318,585	95.5
国庫支出金	209,211	62.7	公 債 費	100	0
県 支 出 金	574	0.2	基 金 積 立 金	1,800	0.5
財 産 収 入	1,800	0.5	諸 支 出 金	3	0
繰 越 金	28,103	8.4	予 備 費	200	0.1
諸 収 入	101	0.1			
歳入合計	333,660	100.0	歳出合計	333,660	100.0

●54年度プール特別会計予算

(単位千円)

歳 入			歳 出		
科 目	予 算 額	構 成 比	科 目	予 算 額	構 成 比
使用料及手数料	9,550	30.6	総 務 費	28,716	91.9
繰 入 金	6,000	19.2	公 債 費	2,464	7.9
繰 越 金	1,000	3.2	予 備 費	70	0.2
諸 収 入	700	2.2			
町 債	14,000	44.8			
歳入合計	31,250	100.0	歳出合計	31,250	100.0

●54年度水道事業会計予算

(単位千円)

歳 入				歳 出			
科 目		予 算 額	構 成 比	科 目		予 算 額	構 成 比
水道事業 業 営	給水収益	11,093	14.5	水道事業 業 営	営業費用	106,161	72.2
	受託工事収益	7,260	9.5		営業外費用	40,776	27.7
	その他営業収益	10	0		予備費	200	0.1
水道事業 業 外	受取利息配当金	10	0				
	他会計補助金	57,900	76.0				
歳入合計		76,273	100.0	歳出合計		147,137	100.0

# 農 業



## ●農家数の動き

(54. 2. 1 現在)

年度	総 数	専 業	第1種兼業	第2種兼業
44	608	34	198	376
45	584	29	177	378
46	557	28	110	419
47	553	30	94	429
48	532	25	107	400
49	470	24	144	302
50	452	29	133	290
51	448	23	161	264
52	440	26	136	278
53	432	19	125	288

## ●経営規模別農家数

(54. 2. 1 現在)

年度	総数	10~30 アール (1反~3反)	30~50 アール (3反~5反)	50~100 アール (5反~1町)	100~150 アール (1町~1.5町)	150以上 アール (1.5町以上)	例 外 規 定
40	676	201戸	100	195	150	27	3
41	671	199	103	190	150	26	3
42	665	194	107	187	148	27	2
43	641	176	103	195	136	29	2
44	608	155	104	187	132	28	0
45	584	147	96	183	129	29	0
46	557	137	90	186	116	26	2
47	553	136	92	194	105	24	2
48	532	119	92	198	98	22	3
49	470	96	83	206	71	11	3
50	452	85	87	197	68	11	4
51	448	86	76	185	79	19	3
52	440	79	89	178	74	17	3
53	432	82	81	178	77	12	2

## ●農業機械所有台数

(54年2月1日現在)

年 次	動力耕うん機 農用トラクター	動 力 噴霧機	動 力 散粉機	田植機	バイン ダー	自 脱 型 コンバイン	米麦用 乾燥機	農用トラック オート三輪
S 38年	219	12	3	—	—	—	—	9
// 46 //	317	7	59	54	58	0	—	25
// 47 //	319	12	55	55	56	1	—	29
// 48 //	333	10	56	56	95	4	—	33
// 49 //	365	12	59	59	141	4	—	45
// 50 //	398	45	23	39	198	8	305	37
// 51 //	430	21	32	79	207	15	338	45
// 52 //	435	13	41	114	226	40	329	34
// 53 //	445	12	68	181	222	70	325	62
// 54 //	453	14	72	184	242	81	326	64

## ●主要作物収穫面積の累年比較

(単位：a)

年度	水 稻	麦 類	甘 藷
S 35	33,850	6,230	2,780
38	33,090	3,200	1,930
40	32,835	2,438	1,629
41	32,537	2,529	1,730
42	32,253	2,053	1,603
43	31,838	1,795	1,333
44	31,176	1,249	783
45	28,108	749	710
46	26,393	519	510
47	25,338	230	403
48	24,542	200	331
49	23,331	100	303
50	22,549	4	273
51	23,753	4	223
52	23,419	4	252
53	21,353	6	244

## ●畜産 (54. 2. 1 現在)

種 類	頭羽数
乳 牛	21
乳牛以外	30
にわとり	17,005

## 漁 業

### ●年次別組合水揚高

(単位：千円)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	51年	52年	53年	51年	52年	53年
魚 類	156,788	231,763	180,823	278,493	331,084	349,103
貝 類	50,112	73,730	89,204	141,474	243,959	238,565
藻 類	351	1,198	201	924	1,624	719
計	207,251	306,691	270,228	470,891	576,667	588,387

### ●漁港施設

項 目	第1種	第2種
	漁 港 数	1
けい 船岸延長(m)	373	702
外かく施設延長(m)	686	1,274
最多入港トン数(t)	29	10
登録漁船隻数(隻)	87	193
利用漁船隻数(隻)	103	205

(備考) 第1種 御宿漁港  
第2種 岩和田漁港

### ●漁業別水揚量

(単位：トン)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	51年	52年	53年	51年	52年	53年
二そうまきあぐり巾着網	1,260	2,197	1,155	0	0	0
刺 網	0.3	0.3	0.3	54	6	73
さ ば 釣	23	2	3	0	0	0
い か 釣	14	24	8	33	57	6
そ の 他 の 釣	53.7	75.5	57	136	231	283
そ の 他 の 延 縄	0	1	3	12	3	0
地 び き 網	-	-	-	-	-	-
採 貝	18	23	24	47	76	68
採 藻	21	60	6	33	57	17
突 棒	3	0.2	0	0	0	0
そ の 他 の 漁 業	2	6	148.7	4	22	19
総 計	1,395	2,389	1,405	319	452	466

### ●おもな漁種別水揚量

(単位：トン)

魚 種 別	御 宿		岩 和 田	
	52年	53年	52年	53年
た い	4	6	1	1
わ ら さ	3	2	7	6
ひ ら め	2	1	12	7
さ ば	2	3	0	0
ぶ り	0	2	9	9
い か	24	8	56	6
か つ お	30	49	77	99
い な だ	4	2	29	69
め じ	18	8	29	63
め だ い	1	3	3	0.1
ま ぐ ろ	0	7	1	0.4
あ じ	7	18	0	0
さ よ り	6	2	0	0
こ の し ろ	18	60	0	0
鮪	19	20	71	63
さ ぎ え	5	4	5	5
雑 魚	82	55	91	115
い わ し	2,164	1,155	0	0
え び	0	0	4	4
計	2,389	1,405	395	447

### ●漁業協同組合の状況

組 合	45			50			54(12.31)		
	計	正組 合員	準組 合員	計	正組 合員	準組 合員	計	正組 合員	準組 合員
御宿	157	129	28	171	129	42	190	136	54
岩和田	44	437	4	457	451	6	461	453	8

### ●観光施設及び入込数

年 次	50	51	52	53	54
観 光 客 数 (夏季・人)	1,160,483	1,049,187	1,030,220	1,116,000	1,052,000
旅 館 ( 軒 )	21	20	18	18	18
民 宿 ( // )	150	263	270	270	276
貸 家 貸 問 ( // )	120	110	110	120	120
海 の 家 (売 店)	32	32	32	32	32
駐車場利用台数	15,151	14,406	15,379	19,692	19,144
御宿駅の収入(夏季・千円)	74,019	74,774	89,386	104,389	99,996
観 光 収 入 (推計・千円)	942,480	753,980	780,000	1,536,200	
町の観光投資額(千 円)	12,504	13,486	14,445	83,586	32,000(推)

観  
光

### ●プール入込状況

年 次	50年	51年	52年	53年	54年	平均
大 人	16,000	16,000	11,000	18,000	21,000	16,000
小 人	13,000	13,000	10,000	14,000	19,000	14,000
学 割	7,000	5,000	6,000	7,000	8,000	7,000
合 計	36,000	34,000	27,000	39,000	48,000	37,000



# 商 工 業

## ●経営組織別事業所数

総 数 (人)		事業所数	従業者数
		443	2,310
民 営	小 計	421	2,048
	1～4	317	671
	5～9	59	378
	10～19	29	369
	20～29	10	229
	30以上	6	401
地方公共団体		22	262

## ●産業大分類別就業者数

			昭和53年
第1次産業	農 林 業	漁 業、水産、養殖業	2
	小 計		2
第2次産業	鉱 産 業	建設業	0
	製 造 業	設 計	39
	小 計		61
第3次産業	卸 売 業、小 売 業	金融、保険、不動産業	194
	運 輸、通 信 業	電 気、ガ ス、水 道 業	2
	電 気、ガ ス、水 道 業	一 般 業 務	7
	サ ー ビ ス	公 務	1
	小 計		132
合 計			5
合 計			341
合 計			443

## ●業種別商店数など

(万円)

対 象 業 種 ( )	商 店 数	従 業 者 数	売 場 面 積 (平方メ ートル)	年 間 販 売 額	商 品 手 持 額	修 理 料 サ ー ビ ス 料 収 入
一 般 卸 売 業	14	67	—	202,708	10,140	203
代 理 商 仲 立 業	—	—	—	—	—	—
織 物・衣 服・身 の 廻 り 品 小 売 業	18	54	966	33,564	8,097	81
飲 食 料 品 小 売 業	83	198	3,044	169,279	9,448	—
自 転 車 荷 車 小 売 業	5	9	198	4,704	1,176	451
家 具 建 具・什 器 小 売 業	15	50	706	32,135	5,052	1,096
そ の 他 の 小 売 業	37	123	1,244	127,922	16,808	1,946
総 数	172	501	6,158	570,312	50,721	3,777
飲 食 店	67	318	—	47,748	—	—

## ●産業中分類工場数・従業者数・製造品出荷額

(昭和54年6月商業調査)

(万円)

意 業 中 分 類	工 場 数	従 業 者 数			製 造 品 出 荷 額 (万円)	主 たる 生 産 品
		計	常 用 労 働 者 数	業 主 及 び 家 族 従 業 者		
食 料 品 製 造 業	18	155	129	26	48,992	煮 干、塩 干、パ ン、菓 子
衣 服 其 他 織 維 製 品 製 造 業	5	103	102	1	16,565	婦 人 セ ー タ ー、レ イ ン
木 材 木 製 品 製 造 業	6	25	16	9	6,516	コ ー ト、婦 人 服
機 械 電 気 機 械 製 造 業	10	145	136	9	34,891	製 材、建 具
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	2	8	4	4	1,565	印 刷
そ の 他 の 製 造 業	6	102	97	5	58,830	ボ ル ト、ナ ッ ト
総 数	47	538	484	54	167,359	船 舶 機 械、自 動 車 部 品

## ●工業の推移 (万円)

<工業統計調査より> 53年12月31日現在

区 分 年度別	事業所数	従 業 者 数(人)			現 金 給 与 総 額	製 造 品 出 荷 額 等	従 業 者 1 人 当 り 出 荷 額
		計	常 用 労 働 者 数	業 主 及 び 家 族 従 業 者			
S 45	51	832	769	63	25,189	113,663	137
46	49	761	704	57	29,269	104,283	137
47	55	706	642	64	31,116	134,212	190
48	54	693	624	69	33,189	122,619	177
49	50	626	561	65	36,430	133,814	213
50	49	615	555	60	40,747	128,696	209
51	48	597	542	55	49,402	147,332	247
52	49	575	518	57	50,734	166,545	290
53	47	538	484	54	54,470	167,359	311

●電話加入状況

(54年12月31日現在)

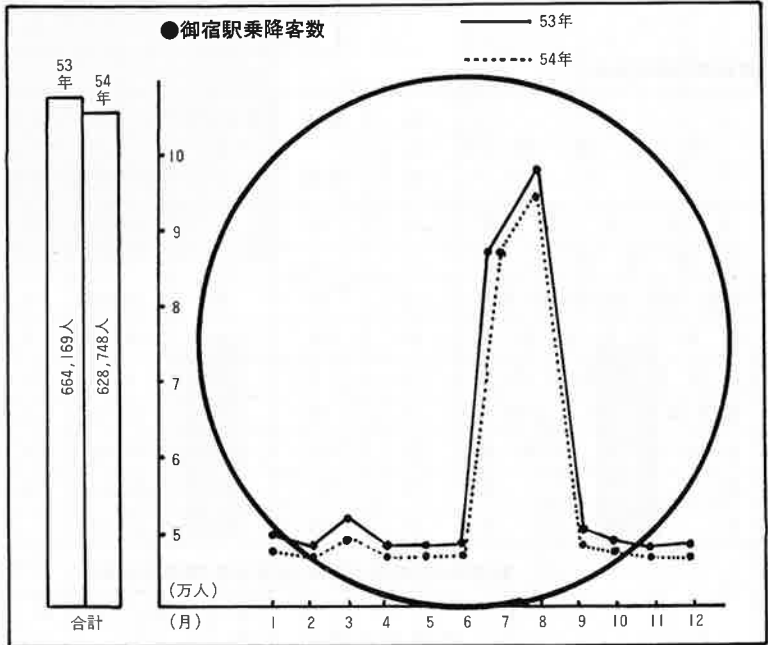
年次	開 通 加 入 電 話 数									公衆電話	農衆電話
	総 数			単 独 電 話 数			共 同 電 話 数				
	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用		
39	335	269	55	271	221	39	64	48	16	11	—
51	2,295	1,050	1,245	2,066	976	1,090	229	74	155	60	301
52	2,341	1,018	1,323	2,116	946	1,170	225	72	153	63	297
53	2,454	1,056	1,398	2,239	991	1,248	215	65	150	66	293
54	2,508	1,040	1,468	2,307	980	1,327	201	60	141	54	285

●自動車保有台数

(54. 4. 1)

車 種	御 宿 町	夷隅郡市計
トラック	321	4,196
貨 客	253	2,858
バ ス	31	212
普通乗用	23	232
小型乗用	1,205	14,859
三 輪	—	2
特 殊	18	301
計	1,851	22,660

●御宿駅乗降客数



●郵便物取扱状況

(54年)

区 別	引 受	到 着	差 立	配 達
普 通	318,280	560,275	234,695	643,860
特 殊	12,884	21,492	13,136	21,240
小 包	3,822	7,539	3,882	7,539
特 殊	126	540	126	540
年 賀	147,464	110,564	108,031	149,997

●軽自動車の保有台数

(54. 4. 1)

種 別	部 落 別									計
	須 賀	浜 田	高 山 田	久 保	新 町	六 軒 町	岩 和 田	実 谷 七 本	上 布 施	
50cc	89	97	52	88	124	60	176	80	119	885
90	9	7	9	16	19	5	4	14	15	98
125	1	3	2	1	8	3	3	6	10	37
農 耕 用	7	2	57	50	2	—	1	75	93	287
自 動 二 輪	—	—	—	—	1	—	2	—	1	4
軽四輪貨物	19	24	11	24	44	10	27	16	35	210
軽四輪乗用	12	9	2	11	23	7	14	15	15	108
小 型 二 輪	4	1	1	1	5	2	1	1	1	17
そ の 他 (フォークリフト)	—	1	—	2	1	1	2	1	—	8
計	141	144	134	193	227	88	230	208	289	2654

●道路の現況

路線名		単位	町道	県道	国道	計
路線 実延	線数	本	1,509	4	1	1,514
	延長	m	259,938	11,238	3,895	275,071
内訳	改良済延長	m	39,954	9,481	3,895	53,330
	未改良延長	m	219,984	1,757	0	221,741
内種類 別	橋梁延長	m	69か所462	111	1か所14	587
	隧道延長	m	15か所699	110	6か所382	1,191
幅員 別 内訳	改良 7.5m以上	m	6,087.6	320	3,895	10,302.6
	改良 5.5m以上	m	17,001.8	7,010	—	24,011.8
	改良 4.5m以上	m	5,496.5	2,151	—	7,647.5
	未改良 4.5m以上	m	4,062.0	—	—	4,062.0
	未改良 3.5m以上	m	13,488.0	—	—	13,488.0
	未改良 3.5m未満	m	213,802.1	1,757	—	215,559.1
自動車交通不能		m	198,907	300	—	198,907
路面 別 内訳	砂利道	m	220,038	300	—	220,338
	舗装 セメント系	m	0	—	—	0
	舗装 アスファルト系 高級	m	0	6,759	3,895	10,654
	舗装 アスファルト系 簡易	m	39,900	4,179	—	44,079
	道計	m	0	11,238	3,895	15,133

●町営住宅建設の推移

建築年次	住宅、団地名	戸数	面積	構造
昭和30年	新町住宅	20	627㎡	木造瓦葺平屋建1戸建
31	〃	20	627	〃
32	須賀住宅	20	627	〃
33	〃	20	627	簡易耐火平屋1棟2戸建
34	六軒町住宅	20	627	〃
35	〃	20	627	〃
40	岩和田漁民住宅	24	1,190.4	簡易耐火2階1棟6戸建
44	久保富士浦団地	10	318.2	木造瓦葺平家1戸建
48	教職員住宅	3	120.55	軽量鉄骨(プレハブ)1戸建40.15㎡
52	矢田団地	20	1,143	簡易耐火2階1棟2戸建

●農道、林道の現況

項目		本数	数値
農業 施設	農道延長(m)		6,771
	市町村 その他		4,677
	計		11,448
耕地面積(ha)			340
林業 施設	林道延長(m)		17,493
	市町村	13	17,493
	国 有		
	その他		
計		13	17,493
林野面積(ha)			545

●町道の延長面積

総数		舗装道	砂利道
延長	面積	延長	延長
259,938 m	1,125,145㎡	39,900 m	220,038 m

●町道の内訳

(54.4.1)

項目		数値	
道	実延長 (m)	259,938	
	面積路面 (㎡)	656,583	
	改良済延長 (m)	39,954	
	舗装済延長 (m)	39,900	
	自動車交通不能道延長(m)	198,907	
	歩道延長 (m)	1,908	
	防護柵延長 (m)	2,910	
	側道橋 (m)	(2) 27	
	市町村道と鉄道との交差箇所数		6
	うち立体交差箇所数		4

実延長	1.5m以上4.5m未満(m)	227,559.1
	4.5m以上 (m)	32,378.9
の内訳 計		259,938.0

●犯罪発生件数

年次	区分 罪種別	凶 悪 犯					粗 暴 犯	窃 盗 犯			知 能 犯			其 他 の 刑 法 犯	合 計
		殺 人	強 盗	強 姦	放 火	計		侵 入 犯	そ の 他	計	詐 欺	そ の 他	計		
50		1	0	5	2	8	8	135	195	330	7	3	10	13	369
51		1	0	0	1	1	1	180	82	263	9	0	9	2	275
52		0	0	0	0	0	3	157	32	189	7	0	7	7	196
53		1	0	0	2	3	18	174	212	386	7	3	10	8	425

●消防の施設状況

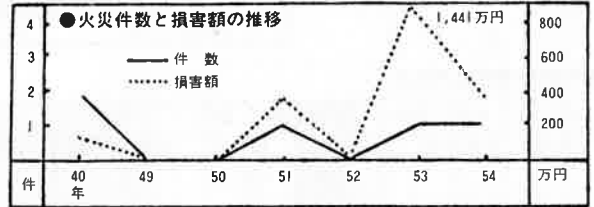
消 防 ポンプ車	7
水そう付ポンプ車	1
小 型 ポンプ	3
指 揮 広 報 車	1
消 火 水 そう	72
消 火 栓	45

●火災事故発生件数

年次	火 災 件 数				・ 焼失面積(m <sup>2</sup> )		損害額 (千円)
	総数	建物	山林 原野	その他	建 物	山 林 その他	
40	2	2	0	0	164	0	1,730
48	3	2	1	0	100	11,603	6,484
49	0	0	0	0	0	0	0
50	0	0	0	0	0	0	0
51	1	1	0	0	121	0	3,300
52	0	0	0	0	0	0	0
53	1	1	0	0	37.19	0	14,410
54	1	1	0	0	231	0	3,600

●消防団

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1	2	16	8	9	49	180	265



●大地震・風水害等の避難場所

(1) 御 宿 小 学 校	御宿町久保2085	23,819m <sup>2</sup>
(2) 御 宿 中 学 校	// 新町68	27,484
(3) 岩 和 田 小 学 校	// 岩和田1075	5,448
(4) 御 宿 町 役 場	// 久保2200	10,581
(5) 布 施 小 学 校	// 上布施909	12,638
(6) 実 谷 区 民 館	// 実谷586	1,177
(7) 岩 和 田 青 年 館	// 岩和田788	11,250
(8) 八 坂 神 社	// 須賀525	2,006
(9) 御 宿 家 政 高 校	// 久保1528	26,582

●交通事故発生状況(54年)

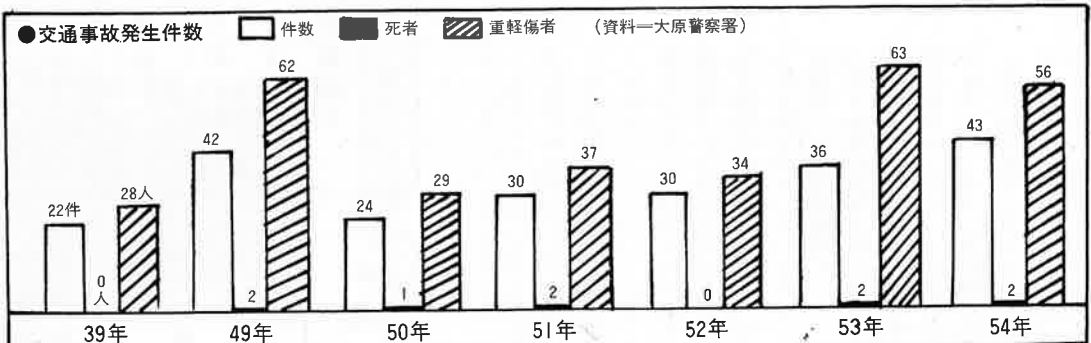
(資料 大原警察署)

月別	死 傷 者 数			人 身 事 故 件 数		物 損 事 故 件 数		合 計
	死	傷	軽	管内	町内	管内	町内	
1	0	0	5	10	2	17	7	27
2	0	1	1	6	2	11	1	17
3	0	0	0	10	0	23	7	33
4	0	0	5	14	3	15	4	29
5	0	0	2	15	2	25	4	40
6	0	2	5	11	6	25	6	36
7	0	1	10	26	8	37	13	63
8	1	0	7	24	5	52	25	76
9	1	1	2	8	3	14	2	22
10	0	2	2	11	3	24	6	35
11	0	1	4	12	4	19	6	31
12	0	1	4	11	5	19	2	30
計	2	9	47	158	43	281	83	439

●被災危険箇所

危険箇所数	がけ崩れ 隧	11ヶ所 2ヶ所	212世帯
浸水危険箇所	新 町	御宿中学校前	
	//	天の守下	
	//	黒田石綿周辺	
	岩 和 田	入宿	
	須 賀	駅前より須賀三角間	
	浜	鶴寿司周辺	
	高 山 田	須表・島田宅周辺	

●交通事故発生件数





●町立小学校の児童、教職員数

( )内は特殊 (54,5)

●教育

学校名	児童数	学級数	教員数	事務 栄養職員	調理員	用務員
総数	803(14)	24(3)	39	4	6	3
御宿小	467(4)	12(1)	19	2	4	1
岩和田小	174(3)	6(1)	11	1	2	1
布施小	162(7)	6(1)	9	1		1

学校名	所在地	電話
御宿小学校	久保2085	2009
岩和田小学校	岩和田1075	2254
布施小学校	上布施909	2437
御宿中学校	新町68	2101
県立御宿家政高校	久保1528	2911

●町立中学校 県立高校の生徒、教職員数

( )内は特殊 (54,5)

学校名	生徒数	学級数	教員数	事務職員	用務員	調理員
御宿中学校	364(15)	10(2)	24	1	1	4
県立御宿家政高等学校	392	9	26	3	2	2



●公民館・資料館利用状況

	公民館		資料館	
	1日平均	年間利用者数	1日平均	年間利用者数
53年度	165.9人	29,368人	10.4人	3,046人

●卒業生進路状況

卒業年度	高等学校進学		就 職		各 種 学 校		計
	進学者数	率	就職数	率	人 数	率	
50	116	88	10	8	6	4	132
51	108	91	7	6	4	3	119
52	110	90	12	10	0	0	122
53	124	95	7	5	0	0	131

●御宿家政高等学校卒業生進路状況

卒業年度	大学進学		就 職		各 種 学 校		家事手伝		計
	人 数	率	人 数	率	人 数	率	人 数	率	
50	17	13	89	68	25	19	0	0	131
51	12	9	88	66	29	22	4	3	133
52	10	8	101	76	20	15	1	1	132
53	6	5	104	81	18	14	0	0	128
54(推)	16	12	82	63	32	24	1	1	131

●指定文化財一覧

種 別	文 化 財	指 定 年 月 日	所 在 地	管 理 者
記 念 物	ドンロドリゴ上陸地	県指定41. 12. 2	岩和田626	御宿町
有形文化財	ドンロドリゴ関係遺品	町指定49. 3. 29	久保1916	岩瀬禎之
〃	サンフランシスコ号キール			
〃	木造阿弥陀如来像	〃 〃	浜 572-1	妙音寺
〃	亀甲地双鶴	〃 〃	〃	〃
〃	白銅鏡	〃 〃	〃	〃
〃	木造大日如来座像	〃 〃	上布布施1474	真常寺
〃	木造如意輪観音座像	〃 〃	〃	〃
〃	十王堂縁起	〃 〃	六軒町区	十王寺
記 念 物	夫婦銀杏	〃 53. 3. 27	須賀668	最明寺
〃	太ソテツ	〃 〃	須賀160-4	御宿町
有形文化財	双 盤	〃 54. 6. 27	須賀668	最明寺



ドン・ロドリゴ上陸地

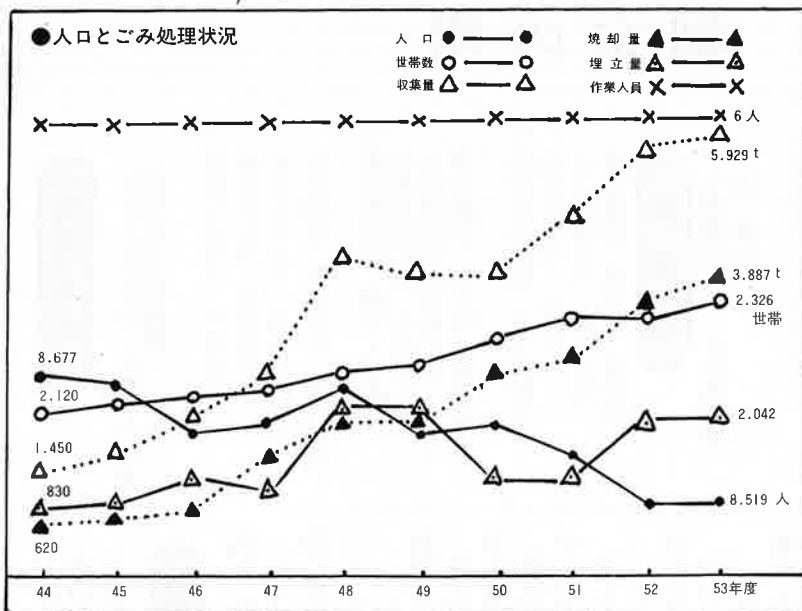
●国民健康保険加入者及び給付の状況

	加 入 者			給 付	
	世 帯	加入者	加入率	給付額(千円)	増加率
32年度	1,518	7,290	72.9%	9,460	—
50	1,681	5,402	63.0%	249,287	2535.2
51	1,646	5,188	61.0%	286,407	14.8
52	1,616	5,083	59.3%	325,598	13.7
53	1,627	5,032	59.2%	380,429	16.8

●定期健康診断・予防接種の状況

区 分	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度
ジフテリア	131	0	93
破 傷 風			
ジフテリア			
百 日 咳	0	107	232
小児マヒ・生ワク	113	122	155
日 本 脳 炎	1,352	1,382	409
インフルエンザ	1,308	1,382	2,398
風 ・ し ん	—	—	25
は し か	—	—	67

保  
健  
衛  
生



### ●御宿町官公庁・学校・各種団体一覧

名称	所在地	電話
御宿町役場	久保 2200	2511
御宿町焼却場		4613
御宿町浄水場		4885
御宿町公民館	久保 2200	2947
御宿町歴史民俗資料館	〃	4311
御宿駅	須賀 191	2053
御宿郵便局	新町 397	2871
布施郵便局	上布施 1400	2870
御宿漁業協同組合	浜 413	2611
岩和田漁業協同組合	岩和田 926	2011
御宿町観光協会	久保 2200	2511
御宿町体育協会	〃	2947
御宿町商工会	〃	2818
御宿町婦人会	上布施	2530
御宿町商店振興会	久保 2200	2818
御宿町農業協同組合	須賀	2424
駅前警察官駐在所	〃	2100
六軒町駐在所	六軒町	2719
運輸省御宿航空標識所	岩和田 789	2654

### ●ごみ処理施設

処理計画人口 (人)	8,519		
処理人口 (人)	8,519		
年間総排出量 (t)	5,929		
年間総収集量 (t)	5,524		
年間総処理量 (t)	焼却処理等	3,887	
	高速堆肥化処理		
	埋立処理		
	その他	1,637	
	計	5,524	
焼却処理稼働日数	286		
高速堆肥化処理稼働日数			
収集能力	収集職員数(人)	4	
	収集車輛(台)	特殊運搬車	1
		運搬車	2
		計	3
処理能力 (t)	処理場職員数(人)	2	
	施設能力(t)	焼却処理	10
		高速堆肥化処理	
		計	10
自家処理量 (t)	405		

### ●し尿処理施設

処理計画人口 (人)	8,519		
処理人口 (人)	8,212		
年間総排出量 (㎏)	4,353		
年間総収集量 (㎏)	4,196		
年間総処理量 (㎏)	下水道マンホール投入		
	処理施設処理	4,196	
	その他		
	計	4,196	
処理施設稼働日数	365		
収集能力	収集職員数(人)	4	
	収集車輛(台)	バキューム車	2
		運搬車	
計	2		
処理能力 (㎏)	処理場職員数(人)	1	
	施設能力(㎏)	処理施設	12
		海洋投棄船	
計	12		
自家処理量 (㎏)	下水道放流		
	し尿浄化そう	31	
	その他	126	
計	157		

# 御宿の唄

## 御宿ブルース

作詩—古谷玲児／作曲—八州秀章  
唄—すずらん姉妹

- 一 あだし人魚よ 七尋八尋  
姿いとしゃ 紺がすり  
忘れられよか 忘れてなるか  
夢の御宿 海女の町 海女の町
- 二 星の数ほど 寄せては返す  
色もとどり 人の波  
光る砂浜 きらめく渚  
夢の御宿 海の町 海の町
- 三 月のあかりに 二人の胸に  
乱れ咲く花 月見草  
行こ方砂丘へ 戻るか宿へ  
夢の御宿 恋の町 恋の町

## 回想譜

今城靖児作詩／佐伯亮編曲  
唄 藤山一郎

- 一 星みれば はろかに香く  
雲みれば つぎせぬ想い  
去りゆきし 君は話わねど  
御宿の ああ 海の恋しさ
- 二 風吹けば 風もさびしや  
虫鳴けば 虫もわびしや  
ただひとり 山荘にあれば  
堪えがたく ああ 涙ながるる
- 三 朝には あしたの祈り

## 房州御宿音頭

夕には ゆうべの願い  
嫁ぎゆく 妹にのみ  
いまはただ ああ 幸をこつのみ

房州 御宿玉の庫よ

- ハソリヤ ドウシタ ドウシタ  
海に銀鱗 海に鱗 田に黄金  
ハソリヤ ヤッサイ  
ヤッサイ ドントネ  
房州御宿 網代の浜は  
銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜  
潮は黒潮 流れて巻いて  
風は汐風 風は汐風 恋の風  
あんな男を梶子にもつて  
ぬれて苦労が ぬれて苦労が  
してみたい  
お前や水底 わしや風の中  
つなは一筋 つなは一筋  
血が通う  
板子一枚いといはせぬが  
ぬれるお前が ぬれるお前が  
いとおしい  
房州御宿旅立つ朝は  
雨も降らぬに 雨も降らぬに  
袖しぼる  
舟は帆まかせ 帆は風まかせ  
わたしやお前の わたしや  
お前の つなまかせ

## 御宿難し

作詩・作曲—加藤まささを  
編曲—吉野達弥  
唄—中里このえ

- 一 トンとトンとトンと男波が躍る  
躍る男波に抱かれて歌う  
女波いとしゃ月夜の晩は  
御宿難しで浮かれ出す
- 二 山にや名物メキシコタワー  
浜の砂丘にや王子と姫が  
月の砂漠を揺られて越える  
対の駱駝の旅姿
- 三 磯の華かよ岩和田の海女は  
浮いて沈んで浮いて  
浪がトンと来りや乳房が揺れる  
誰が住むやらあの胸に
- 四 昼は砂丘に浜昼顔が  
夜は砂丘に宵待草が  
粋な浜風花から花に  
若い二人の燃える頬に
- 五 椰子の葉蔭で佳い夢見たよ  
野暮なトウロク 磯パン無しの  
可愛い人魚が蠟燭で  
忘れちゃおえねえ また来てね

## 月の砂漠

作詩—加藤まささを  
作曲—佐々木すずる



- 一 月の砂漠を はるはる  
旅のちかたが 行きました  
金と銀との くらおいて  
二つならんで 行きました
- 二 金のくらには 銀のかめ  
銀のくらには 金のかめ  
二つのかめは それぞれに  
ひもでむすんで ありました
- 三 先のくらには 王子さま  
あとのくらには お姫さま  
乗ったふたりは おそろいの  
白い上衣を 着てました
- 四 広い砂漠を ひとすじに  
ふたりはどこへ 行くのでしょう  
おほるにけふる 月の夜を  
ついのちくたは とほとほと  
砂丘を越えて 行きました  
だまって越えて 行きました